



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長兼経理部長 (氏名) 酒井 孝幸 (TEL) 026(227)1301

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,383	69.4	756	216.9	788	236.6	459	221.9
2026年3月期第1四半期	4,357	18.4	238	55.0	234	52.7	142	53.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 447百万円 (123.2%) 2026年3月期第1四半期 200百万円 (85.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	76.76	76.60
2026年3月期第1四半期	23.92	23.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	19,268	6,270	32.5
2026年3月期	18,629	5,897	31.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,270百万円 2026年3月期 5,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	ー	12.50	ー	12.50	25.00
2027年3月期	ー				
2027年3月期(予想)		20.00	ー	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,910	32.9	925	17.6	944	21.4	576	21.5	96.43
通期	26,870	29.6	2,000	13.8	1,992	14.4	1,219	8.6	203.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	6,080,130株	2026年3月期	6,080,130株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	99,343株	2026年3月期	99,343株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,980,787株	2026年3月期1Q	5,962,863株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社グループは「3つの楽しみ（顧客満足の楽しみ、一生懸命の楽しみ、実践と行動の楽しみ）」の経営理念のもと、お客様と私たち従業員の「楽しみ」の創出のために、日々事業活動を推進しております。

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復の動きが見られたものの、継続する物価上昇や人手不足、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループの主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、景品ゲームを中心に高い需要が継続し、既存店及び新規出店店舗の売上高はいずれも好調に推移いたしました。また、前連結会計年度に連結子会社化した道楽株式会社の業績寄与に加え、株式会社ブルームの商品販売が好調に推移したことにより、グループ全体の売上高及び利益を押し上げました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,383,578千円（前年同期比69.4%増）、営業利益は756,302千円（同216.9%増）、経常利益は788,159千円（同236.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は459,068千円（同221.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔で快適な店舗づくりと丁寧な接客に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、個人消費の持ち直しを背景に、アミューズメント業界における景品ゲームへの根強い人気が続きました。このような状況の中、景品ゲーム機の増台に加え、幅広いお客様のニーズに対応したバラエティ豊かな景品を取り揃えることで、店舗の魅力向上と集客力の強化に努めました。

また、景品アイテムを中心とした全店共通キャンペーンをはじめとする各種施策の実施や、アピナ公式アプリを活用した情報発信にも積極的に取り組みました。これらの施策により、既存のお客様の来店促進に加え、新たなお客様層の取り込みを図った結果、景品ゲームを中心に売上高は好調に推移しました。

店舗数につきましては、5月に愛知県に出店した「アピナ太田川店」を含む計3店舗を新規出店し、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は76店舗となりました。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は5,085,352千円（前年同期比26.4%増）、セグメント利益（営業利益）は541,231千円（同49.4%増）となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、アミューズメント業界全体における景品ゲームの好調を背景に、景品ゲーム機器及び景品の需要は堅調に推移しました。景品販売においては、ぬいぐるみやフィギュア、小型家電等の幅広いジャンルの商品がお客様からの支持を集めております。さらに、スクイーズを活用したオリジナル景品等の販売促進にも積極的に取り組んでおります。また、景品ゲーム機器の販売におきましても、旺盛な需要を背景に販売台数が増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、売上高は292,533千円（前年同期比244.1%増）、セグメント利益（営業利益）は85,000千円（同47.3%増）となりました。

③ その他事業

その他事業は、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、トレーディングカード事業並びに子会社である株式会社ブルーム及び道楽株式会社の商品販売等であります。

トレーディングカード事業につきましては、プレイヤー層を主な対象として、新品及び中古カードの販売強化や、親子カード体験会の開催を通じた新たなお客様層の取り込みを図り、売上高の確保に努めてまいりました。一方、道楽株式会社につきましては、希少性や収集需要の高いトレーディングカードを中心に、コレクター層のニーズに対応した商品の買取・販売に取り組みました。両事業の顧客基盤を活かし、トレーディングカード市場における幅広い需要の取り込みを図りました。

また、ブルームの商品販売につきましては、常設店舗に加え、ポップアップ店舗を開設し、国内観光客や訪日外国人旅行者にも訴求する特色ある売場づくりに取り組みました。幅広い商品ラインアップと、スクイーズ商品の体験価値を活かした売場展開が新たな来店動機の創出につながり、売上高は大幅に伸長しました。

以上の結果、売上高は2,005,692千円（前年同期比704.5%増）、セグメント利益（営業利益）は320,688千円（同3854.2%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して639,285千円増加し、19,268,901千円となりました。この要因は、アミューズメント機器（純額）が240,722千円増加したものの、売掛金が114,478千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して266,975千円増加し、12,998,735千円となりました。この要因は、固定負債の長期借入金が400,117千円増加したものの、流動負債の未払金が132,005千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して372,310千円増加し、6,270,166千円となりました。この要因は利益剰余金が384,308千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,015,386	5,257,213
売掛金	1,124,246	1,009,767
有価証券	200,000	—
商品	518,810	522,563
貯蔵品	348,205	506,868
リース投資資産	148,419	125,736
その他	357,794	412,876
流動資産合計	7,712,863	7,835,025
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器（純額）	3,982,842	4,223,565
建物及び構築物（純額）	2,438,870	2,613,234
工具、器具及び備品（純額）	586,328	632,674
土地	1,050,607	1,050,780
建設仮勘定	73,510	121,957
その他（純額）	33,980	35,771
有形固定資産合計	8,166,140	8,677,983
無形固定資産		
のれん	169,308	160,843
その他	34,536	39,955
無形固定資産合計	203,845	200,798
投資その他の資産		
投資有価証券	381,099	363,619
繰延税金資産	270,234	295,368
敷金及び保証金	1,651,823	1,703,843
その他	259,010	207,663
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	2,546,766	2,555,093
固定資産合計	10,916,752	11,433,875
資産合計	18,629,615	19,268,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,782,904	1,657,418
1年内返済予定の長期借入金	1,818,900	1,934,447
未払金	1,356,002	1,223,997
未払法人税等	530,042	371,229
賞与引当金	148,424	234,760
その他	1,228,734	1,242,698
流動負債合計	6,865,008	6,664,551
固定負債		
長期借入金	4,820,424	5,220,541
資産除去債務	1,014,922	1,078,672
その他	31,404	34,970
固定負債合計	5,866,751	6,334,183
負債合計	12,731,759	12,998,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	501,427	501,427
利益剰余金	4,512,370	4,896,679
自己株式	△35,353	△35,353
株主資本合計	5,688,154	6,072,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,701	197,703
その他の包括利益累計額合計	209,701	197,703
純資産合計	5,897,856	6,270,166
負債純資産合計	18,629,615	19,268,901

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,357,834	7,383,578
売上原価	2,137,360	4,102,269
売上総利益	2,220,473	3,281,309
販売費及び一般管理費	1,981,815	2,525,006
営業利益	238,657	756,302
営業外収益		
受取利息	323	1,039
受取配当金	2,495	3,658
太陽光売電収入	1,639	2,046
自販機設置協賛金	1,866	2,382
受取保険金	—	40,746
その他	2,093	1,519
営業外収益合計	8,418	51,392
営業外費用		
支払利息	11,972	18,585
その他	945	949
営業外費用合計	12,917	19,535
経常利益	234,158	788,159
税金等調整前四半期純利益	234,158	788,159
法人税、住民税及び事業税	95,533	348,742
法人税等調整額	△3,991	△19,652
法人税等合計	91,541	329,090
四半期純利益	142,617	459,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,617	459,068

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	142,617	459,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,716	△11,998
その他の包括利益合計	57,716	△11,998
四半期包括利益	200,333	447,070
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,333	447,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	36,996	—	36,996	—	36,996	—	36,996
東北	276,473	—	276,473	—	276,473	—	276,473
関東	1,205,516	85,011	1,290,528	124,729	1,415,258	—	1,415,258
甲信越	930,766	—	930,766	118,915	1,049,682	—	1,049,682
北陸	207,725	—	207,725	—	207,725	—	207,725
東海	890,752	—	890,752	—	890,752	—	890,752
近畿	175,250	—	175,250	—	175,250	—	175,250
中国	230,192	—	230,192	—	230,192	—	230,192
四国	53,126	—	53,126	—	53,126	—	53,126
その他（注4）	16,708	—	16,708	—	16,708	—	16,708
顧客との契約から生じ る収益	4,023,511	85,011	4,108,522	243,645	4,352,168	—	4,352,168
その他の収益	—	—	—	5,666	5,666	—	5,666
外部顧客への売上高	4,023,511	85,011	4,108,522	249,311	4,357,834	—	4,357,834
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	92	92	2,193	2,285	△2,285	—
計	4,023,511	85,103	4,108,614	251,504	4,360,119	△2,285	4,357,834
セグメント利益	362,299	57,697	419,996	8,109	428,106	△189,448	238,657

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗の自販機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	39,293	—	39,293	—	39,293	—	39,293
東北	354,891	—	354,891	—	354,891	—	354,891
関東	1,349,544	292,533	1,642,077	1,703,912	3,345,990	—	3,345,990
甲信越	1,175,123	—	1,175,123	294,498	1,469,621	—	1,469,621
北陸	220,542	—	220,542	—	220,542	—	220,542
東海	1,204,331	—	1,204,331	—	1,204,331	—	1,204,331
近畿	236,437	—	236,437	—	236,437	—	236,437
中国	429,632	—	429,632	—	429,632	—	429,632
四国	58,855	—	58,855	—	58,855	—	58,855
その他（注4）	16,700	—	16,700	—	16,700	—	16,700
顧客との契約から生じ る収益	5,085,352	292,533	5,377,885	1,998,410	7,376,295	—	7,376,295
その他の収益	—	—	—	7,282	7,282	—	7,282
外部顧客への売上高	5,085,352	292,533	5,377,885	2,005,692	7,383,578	—	7,383,578
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	622	622	13,162	13,784	△13,784	—
計	5,085,352	293,155	5,378,507	2,018,854	7,397,362	△13,784	7,383,578
セグメント利益	541,231	85,000	626,231	320,688	946,919	△190,616	756,302

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗の自販機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」セグメントに配分されたのれんの償却額は8,465千円、未償却残高は160,843千円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	533,631千円	625,619千円
のれんの償却額	—	8,465千円

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。